

BOOK Review

脱・しくじりプレゼン 言いたいことを言うとはわらない！



評者

徳田 安春 群星沖縄臨床研修センター長

言いたいことを言うとはわらない，というサブタイトル。衝撃的ですね。故・日野原重明先生は、「医師は聞き上手になりなさい，患者は話し上手になりなさい」と講演でよくおっしゃっていました。話し上手な医師が多いように思われていますが，実は言いたいことが伝わっていないケースが多いのも事実です。その原因が，単に言いたいことを言っていたからだ，というのが本書の主張です。

読者の皆さんも，学会や講演会などで医師のプレゼンテーションを聞く機会があると思います。複雑で大量のスライドを次々とめくりながらものすごい勢いで話す講師，体全体をスクリーンに向けて自分の世界に夢中になっている講師など，さまざまなケースが思い出されます。一方で，世界的なプレゼンテーションをTEDやYouTubeなどで見ると，面白くてかつ勉強にもなるので，つい何時間も見てしまうことがあると思います。これは一体，何が違うのでしょうか。

それは，セオリーとテクニックにありました。まずは，徹底した聞き手の分析であり，聞き手は誰で，何を聞き

たがっているか，どんな話にメリットを感じるか，を分析することである，と本書は述べています。そして，目的を明確化して，伝える場所や環境を考慮に入れる，としています。コンテンツでは，シナリオを作ること。効果的なのは，問題解決型のシナリオで参加者の頭を使ってもらうこと，です。そして，デリバリー。非言語的コミュニケーションも大切なのです。

本書の編著者は八幡紘芦史さん。国際プレゼンテーション協会理事長で，日本におけるプレゼンテーション分野の第一人者です。そして，診療と研究と教育で活躍されている3人の医師が執筆者チームに加わっています。この斬新なチーム構成によって，過去に類書のないブルーオーシャン的イノベーションを本書は提供されています。特に，コミカルな4コマ漫画を使っているので，失敗ケースについてギャグとして提示されており，ストレスなく楽しく理解できます。徹底した読者分析ですね。本書は普段の医療面接にも役立ちますので，医師や研修医だけでなく，全ての医療従事者に広く読んでいただきたいと思います。

八幡 紘芦史 編著，竹本 文美・田中 雅美・福内 史子 著
A5判／192頁／2018年／定価(本体2,600円＋税)／ISBN978-4-260-03191-2／医学書院刊